

### 無題録

○：ブームは、急に人気だ。この年、古川町の観を開設。兼続公まつりも光客は前年より約六万開催し、一時期は毎年七万人を超えてきた。翌年にはさらに約十一万六千人、一六〇増えて七十七万人に減り、二十七年以降は新潟県の観光収入で客統計にも載らなくなつた。日本政策投資銀行は「大河ドラマの放映はブーム効果のみならずマイナスイメージもたらす」と指摘している。大量の情出あたりはさすがに商売がうまい。ロケットやヤタガラスが飛び去つた後ほとんど手を打つた。ドラム同様、次の展開が楽しみだ。

○：上杉景勝の家臣、直江兼続の生涯を描いたNHK大河ドラマ「天地人」が放映されたのは平成二十一年。平均視聴率二二%の人気となった。南魚沼市はすかさず兼続の生家「兼続公伝史跡館」をリニューアルし、大量のマイナスイメージが

○：TBSテレビ日曜劇場「下町ロケット」の撮り手、数年後には五万人に減り、二十七年以降は新潟県の観光収入で客統計にも載らなくなつた。日本政策投資銀行は「大河ドラマの放映はブーム効果のみならずマイナスイメージもたらす」と指摘している。大量の情出あたりはさすがに商売がうまい。ロケットやヤタガラスが飛び去つた後ほとんど手を打つた。ドラム同様、次の展開が楽しみだ。

## 合流点 の意識改革が先決 の懸念する前に議員

した。本多氏「ビジョン」を借りて質問要旨を讀んで「就任早々の商工会長人事への介入、御選座をめぐり多くの村民が不安を感じている。本多啓三議員は、検証百年に合わせるべく旧村政に首を傾けており、極めつけは、匿名による記者もどきの投稿を、公人である議員を名指して誹謗中傷と表現していることがすぐに分かる。今弥彦村は住みたくはない村となり人口減少に拍車がかかり、近隣の方々からも懸念の声が多く届いています」(原文通り)。注・談話室感裁判は朗読しなかったとのことと記載されています。

いつもの口調で書かれていますので、目ごの言動からこんなもんだろよとの感想でした。その中で匿名による記者もどきの意味が分かりませんが、「公職選挙法で選任された公人である議員を名指しでの誹謗中傷の数々」を目的し、筆を執ったと見えます。

これは昨年春から三條新聞の合流点、議員の発言などに疑問を感じた村民が投稿されたこと

を、公人である議員を名指して誹謗中傷と表現していることがすぐに分かる。今弥彦村は住みたくはない村となり人口減少に拍車がかかり、近隣の方々からも懸念の声が多く届いています」(原文通り)。注・談話室感裁判は朗読しなかったとのことと記載されています。

いつもの口調で書かれていますので、目ごの言動からこんなもんだろよとの感想でした。その中で匿名による記者もどきの意味が分かりませんが、「公職選挙法で選任された公人である議員を名指しでの誹謗中傷の数々」を目的し、筆を執ったと見えます。

これは昨年春から三條新聞の合流点、議員の発言などに疑問を感じた村民が投稿されたこと

第二は、村のホームページ・会議録や新聞記事、日常的に入ってくるさまざまな情報などを総合的に検討して、客観的にできる限り正確な内容で投稿してあります。

投稿のきっかけは二年半前にさかのぼります。三月議会が終わったあとで、是非々々を明確にした某氏の突然の議員辞職でした。三期目の再選を果たし、村のため村民の

少しくも知り得た事実を明らかにしなければこの村の将来はない、との私なりの郷土愛から議会の動向や議員の発言に心をもちようになりまし

合流点に頼るのではなく、議員に直接意見を言う方法もあります。しか

の場で、本多啓三議員が「公人である議員を名指して誹謗中傷」と表現されたと聞いて、投稿者の一人として反論します。小生が投稿した内容には、事実を基としていないと、事実を歪曲しているといふ点があります。匿名で作り話や歪曲は許さず、誹謗中傷は全くの見当違いです。

次に五人の議員の名前についてですが、皆さんは実名入りの共同の議会報告を新聞折り込みで配布されたのではないですか。議員は公人として何を言っても許されるわけではなく、発言には自ずと責任が伴います。議会報告は事実を正しく伝える内容でなければなりません。初回の議会報告の中には、事実と根本的に違う箇所がありました。知らない人は事実と勘違いしてしまうだろうと思つたことも、合流点に投稿するきっかけの一つです。

や団体の意見も載りません。誹謗中傷というのであれば、匿名であっても堂々と指摘し、反論し議員の名譽を守ればよいのではないですか。誹謗中傷の名譽に関わる問題です。

三條新聞の合流点にはいろいろな意見が匿名で紹介されています。役所

ので、議長名で反論する方法もあります。公人として懸念する前に、村の将来がかかった政策を決める議会を構成する議員の意識改革が先決ではないですか。本多啓三議員の持論・反論を期待します。

(弥彦本村の年寄り)

の場で、本多啓三議員が「公人である議員を名指して誹謗中傷」と表現されたと聞いて、投稿者の一人として反論します。小生が投稿した内容には、事実を基としていないと、事実を歪曲しているといふ点があります。匿名で作り話や歪曲は許さず、誹謗中傷は全くの見当違いです。

次に五人の議員の名前についてですが、皆さんは実名入りの共同の議会報告を新聞折り込みで配布されたのではないですか。議員は公人として何を言っても許されるわけではなく、発言には自ずと責任が伴います。議会報告は事実を正しく伝える内容でなければなりません。初回の議会報告の中には、事実と根本的に違う箇所がありました。知らない人は事実と勘違いしてしまうだろうと思つたことも、合流点に投稿するきっかけの一つです。

や団体の意見も載りません。誹謗中傷というのであれば、匿名であっても堂々と指摘し、反論し議員の名譽を守ればよいのではないですか。誹謗中傷の名譽に関わる問題です。

三條新聞の合流点にはいろいろな意見が匿名で紹介されています。役所

ので、議長名で反論する方法もあります。公人として懸念する前に、村の将来がかかった政策を決める議会を構成する議員の意識改革が先決ではないですか。本多啓三議員の持論・反論を期待します。

(弥彦本村の年寄り)